

平成 29 年度第 1 回幸手市地域公共交通会議 会議録

○開催日時 平成 29 年 6 月 22 日（木）午前 10 時～10 時 30 分

○会 場 幸手市役所 第二庁舎 第 2 会議室

○会議内容 公開

○幸手市地域公共交通会議委員

委員区分	所属・職名	氏 名	会議の出欠
第 1 号 (幸手市長又はその指名する者)	幸手市副市長	成田 博	出席
第 2 号 (一般乗合旅客自動車運送事業者の代表)	朝日自動車株式会社	高橋直樹	代理出席
第 3 号 (一般貸切(乗用)旅客自動車運送事業者の代表)	中田商会株式会社	中田幸宏	出席
	株式会社東埼玉観光バス	内藤秀夫	出席
	幸手タクシー有限会社	松岡光一	出席
	有限会社共和タクシー	明野真久	出席
第 4 号 (一般社団法人埼玉県バス協会の代表)	一般社団法人埼玉県バス協会	鶴岡 洋	出席
第 5 号 (一般社団法人埼玉県乗用自動車協会の代表)	一般社団法人埼玉県乗用自動車協会	高原 昭	欠席
第 6 号 (住民又は利用者の代表)	幸手市区長	木村信隆	出席
	幸手市区長	石川伸二	出席
	幸手市区長	岸本規生	出席
第 7 号 (埼玉運輸支局長又はその指名する者)	国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局	藤田幸也	出席
第 8 号 (一般旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転手が組織する団体の代表)	朝日自動車労働組合	中村 仁	代理出席
第 9 号 (道路管理者又はその指名する者)	埼玉県杉戸県土整備事務所	熊谷茂浩	出席
第 10 号 (幸手警察署長又はその指名する者)	埼玉県幸手警察署	戸守芳夫	出席
第 11 号 (前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者)	幸手市総務部長	関根雅之	出席
	幸手市市民生活部長	木村卓朗	出席
	幸手市健康福祉部長	坂齊圭一	出席
	幸手市建設経済部長	戸塚 富士夫	欠席
	幸手市教育次長	小森谷 進	欠席

※会長は、幸手市地域公共交通会議設置要綱（平成 22 年 3 月 29 日告示第 31 号）第 4 条により、幸手市副市長 成田博が務める。また、同第 5 条により、会長が、会議の議長となる。

○傍聴人 なし

○会議次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 委員紹介
- 4 議事
 - 報告第1 デマンド交通運行状況（報告）について
 - 議案第1 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について
- 5 その他
- 6 閉会

○会議資料

- ・次第
- ・席次表
- ・平成29年度幸手市地域公共交通会議委員名簿
- ・報告第1 デマンド交通運行状況（報告）について
- ・議案第1 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

<p>司会（事務局）</p>	<p>皆様、こんにちは。</p> <p>定刻となりましたので、ただ今から「平成29年度第1回幸手市地域公共交通会議」を始めさせていただきます。</p> <p>本日は、お忙しいなか、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>本日の司会進行をさせていただきます、事務局の市民協働課長田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>この会議につきましては、幸手市地域公共交通会議設置要綱第5条の規定により、原則公開となっておりますことから、本日の会議は公開とさせていただきますことをご了承願います。</p> <p>また、議事録作成に伴いまして、録音機器の使用も併せてご了承ください。</p> <p>さて、開会の前に資料の確認をさせていただきます。</p> <p>（説明：資料確認）</p> <p>それでは、開会に当たりまして、会長の成田副市长よりご挨拶を申し上げます。</p>
<p>成田会長</p>	<p>皆様こんにちは。幸手市副市長の成田でございます。</p> <p>本日は、お忙しいなか、平成29年度第1回幸手市地域公共交通会議にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p>さて、昨年度は、当市から提案いたしました平成29年度地域内フィーダー系統確保維持計画について、ご協議をお願いいたしましたところ、たくさんのご意見をいただきましてありがとうございました。</p> <p>また、デマンド交通については、このあとご報告がございますけれども、昨年、平成28年の4月から本運行となりまして、順調に進んでいるところでございます。</p> <p>幸手市といたしましては、今後も交通手段にお困りの方々が、気兼ねなく外出できる環境を整えるため、利用しやすい公共交通網を行政と当会議の委員の皆様にご協力をいただきながら進めていきたいと思っておりますので、ご指導ご協力のほどをよろしくお願いいたします。</p> <p>最後になりますが、2点だけ幸手市の方からPRをさせていただきます。</p>

皆様ご存知のとおり、圏央道の幸手市インターチェンジ周辺に幸手中央地区産業団地というものが建設されております。この中で12区画を販売したところ、すべて完売されまして、その中の1つ日本トランスシティ株式会社というところについては、5月15日から一部操業を始めております。9月1日には全面操業に移るというところでございますけれども、この会社につきましては従業員を150人程度募集すると聞いております。横浜冷凍株式会社というところですけども、6月15日に操業が始まりました。こちらについては約40人の従業員を募集すると聞いております。そしてホクト株式会社でございますけれども、こちらについては5月25日に操業を開始いたしまして、58人の雇用を図ると聞いております。この3社だけでも、約250人程度の雇用が図れるということでございますので、幸手市の雇用にも大きな役割を果たしているのではないかと期待しているところでございます。その他といたしましては、ご存知のとおり、幸手駅の橋上化を進めております。今年の3月4日には仮設の駅が供用開始となりまして、今現在、旧駅舎・トイレ・跨線橋の解体が進んでいるところでございます。これは8月末までには全部完了いたしまして、終わると同時に、新駅の建設にとりかかり、平成31年3月末には新しい駅が建設されまして、4月からは供用開始という計画で進めております。これらが完成することによって、幸手市もだいぶ様変わりがあるのではないかと考えております。また、工業団地については、多くの方たちが駅等を利用することによって、交通網についてはバス等に関する要望も挙がっているところでございますので、公共交通会議といたしましては、それらを見据えて考えていかねばならないと考えておりますので、ぜひご協力をお願いしたいと思っております。本日はよろしく願いいたします。

司会（事務局）

ありがとうございました。続きまして、今年度第1回の会議ということでございますので、委員紹介ということでございますけれども、本日の席次表に沿いまして、自己紹介という形でお願いできればと存じます。

恐れ入りますが、自己紹介にて、お願いしたいと存じますので、よろしく願いいたします。

<p>議長（成田会長）</p>	<p>（委員及び事務局職員自己紹介）</p> <p>ありがとうございました。それでは、次第4の議事に入らせていただきます。これからの進行につきましては、会議設置要綱に基づき、会長であります成田副市長に議長をお願いいたします。</p> <p>議長を務めさせていただきます成田でございます。よろしくをお願いいたします。それでは、次第4の議事に入らせていただきます。報告第1「デマンド交通運行状況（報告）について」を議題といたします。</p> <p>それでは事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>まずこちらの、「幸手市デマンド交通運行状況報告書」からご説明させていただきます。内容につきましては、報告書に沿いながら、ご説明させていただきます。1ページの1（利用者登録者数）につきましては、平成28年4月のデマンド交通の本運行から平成29年5月末までで880人の増加となっております。新規登録者数は平成28年4月から7月にかけて、循環バスの廃止の影響を受け、増加しておりましたが、平成29年4月から5月においては増加人数が30人弱となっております。増加幅が縮小しているということでございます。</p> <p>次に、同じページ2（年齢別男女別利用者数）をご覧ください。全体の約90%を60歳以上の方が占めておりまして、その中でも70代から90代までの方がその中の70%以上を占めております。男女別割合といたしましては、70%以上が女性の利用となっていることがわかります。</p> <p>次に、2ページ3（利用者数の推移）をご覧ください。こちら平成29年4月の利用者数が730人、5月の利用者数が710人となっております。4月から5月の利用者数の平均値が720人ということになっておりまして、今後は700人から800人前後を維持していくことがわかります。</p> <p>次に、6ページ4（目的地別状況）をご覧ください。主に病院・総合病院、老人福祉センター等の利用者数が多いことがわかります。また、公共施設・スーパーへの利用数も多く、生活になくてはならないものだということもわかります。</p>

	<p>次に、7ページの5（運賃収入状況）をご覧ください。平成28年度の上期（4～9月）の運賃収入が、1,236,600円で、月の平均収入が206,100円でした。28年度の下期の運賃収入が988,300円となっております。月の平均収入が164,716円でした。また、今年度の4月と5月を合わせた運賃収入は259,100円でありまして、月の平均運賃収入が129,550円でした。平成28年度上期下期、平成29年度の4月・5月の本運行が始まってからの運賃収入状況を見ていきますと、利用者数の減少とともに運賃収入も減少している状況であります。今後は利用者数が700人から800人を維持していくと予想されるため、運賃収入も130,000円前後を維持していくのではないかと思います。ご説明は以上になります。</p>
議長（成田会長）	<p>ただいま事務局から説明がございましたが、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。</p>
明野委員	<p>はい。共和タクシーの明野です。2点ほどお願いいたします。人数が月ごとに下がっており、運行日1日あたり5月には30人をきっており、1番多いときで58人とはなっておりますが、その減少について原因をつきとめていらっしゃるのか。また、この中にどの地域の方がどれくらい使っているのか、要は街中の人が多く使っているのか、駅から離れている人（バスの少ない字の人）が多く使っているのか、つきとめていらっしゃるのか。それらの人口比によって使い方がある程度見えてくると思うので、字別に対する利用人数を載せていただければ良いと思います。以上2点について、お願いします。</p>
事務局	<p>まず、利用人数の推移につきましては、昨年度については循環バスが廃止となり、その分増加したということと、デマンド交通とはどういうものか試しに乗ってみようというお客様がかなり多かったのかと思います。苦情も当然その分予約がとれないですとか、ワゴン型の車両ですので見ていると2～3人しか乗っていないのになぜ予約が取れないのかというお叱りもありましたけれど、1年間経って、試しに乗ってみようかという方</p>

	<p>よりも実際乗らないと目的地に行く用事が果たせない人たちが乗ってきたということなので、このあたりの方がデマンド交通を必要としている人数になるかと思います。ただ、なかなか未だに予約がとりづらいというような電話などが来ておりますので、本年度もこのデータを見て見直しまたは改善については検討していきたいと思っております。</p> <p>もう1点の字別の関係はですね、こちらの方でまだデータは揃っておりませんので、運行事業者さんとしっかり状況を把握しながら、当然改善の中ではそういうことも加味しながら改善していかなければなりませんので、その情報が入り次第、次の会議のときにお示しできればと思います。</p> <p>分かりました。私は他に久喜市と白岡市のデマンドを同じ形で携わっているのですが、利用人数の推移について幸手市とはカーブが逆でして、幸手市ではなぜか減少して行って、栗橋・鷲宮・菖蒲・白岡はどちらかという右肩上がりになっています。だから、どのような差が出ているのか知りたかったものです。</p> <p>また、できましたら先ほど予約がなかなかとれないというお話があったので、どれくらいの確率でとれないのかを数字でとっているのかどうか、もしとっていないようでしたら手作業でも受付の方でできると思うので、とっていただいた方が今後の利用数の減少とかそういうもので役立てると思っていますので、そのへんどうなっているのかだけお願いいたします。</p>
明野委員	
事務局	その点についても、情報収集いたします。
議長（成田会長）	<p>他にご意見等がなければ、議案第1「地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について」を議題といたします。</p> <p>事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	次にこちらの「生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持改善計画を含む）（案）」資料をご覧ください。まず初めに、「1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性」

についてですが、幸手市の高齢化率は平成29年5月31日現在で31.3%となっておりまして、今後さらに高齢者の方々への公共交通確保が求められていることが予想されます。

次に「2. 地域公共交通確保維持事業に係る定量的な目標・効果」における(1)事業の目標の年間利用者数の推移をご覧ください。こちらが見込数値にはなりますが、平成30年から32年にかけて10.2%の増加見込みとなっております。(2)事業の効果につきましては、市全域において高齢者を中心とした移動困難者の日常生活を支える公共交通網が確保できるといたしました。

次に「3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体」をご覧ください。現状では平成29年5月31日時点におきまして、利用登録者数は3,595人です。利用者の約9割程度が60歳以上の方や障害者の方の利用者でありまして、今後も運行内容の改善・見直しについて検討していきます。

次に裏面の「4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者」につきましては、こちらの4枚目の「表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)」をご覧ください。運行予定者を株式会社東埼玉観光バスとし、運行系統名を幸手市、計画運行日数を292日、計画運行回数を5,256回としました。運行対応につきましては、昨年と同様に運行区域を幸手市全域といたしまして、運行形態は路線を定めず、ドア to ドア方式で行います。

続きまして、初めのページに戻っていただきまして、裏面の「5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者」「6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称」につきましては、昨年度と同様に株式会社東埼玉観光バスを委託先としております。

7から9につきましては、該当ではないため次に進ませていただきます。

次に「10. 地域公共交通確保維持事業を行う地域の概要」についてご説明いたします。最後の5枚目の「表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要」を見ていただきまして、人口集中地区以外の人口が幸手においては25,617人となっております、国庫補助上限額が5,189,785円となっております。ただし、国土交通省に確認しましたところ、現在まだ30年度のこちらの上限額を算定する算定式が確定し

	<p>ていないというため、現状においては昨年度のもの算定式により上限額を載せていただきたという指示がありましたので、こちらで計算をしまして、国庫補助の上限額を載せております。また、戻っていただいて、1枚目の裏面ですね、こちらの11から2枚目の14までについても、該当がないためこちらは省略させていただきます。</p> <p>次に2枚目の「15. 協議会の開催状況と主な議論」につきましては、平成28年4月に幸手市で本運行が開始されまして、1年2ヶ月程度が経過しております。当面の見通しといたしましては、本運行後の実績値の増減率が落ち着いてきましたが、高齢化率の増加も予想されますことから、今後の推移を注視しながら運行内容の改善・見直しなどについて検討していきます。</p> <p>最後に、2枚目裏面「16. 利用者等の意見の反映状況」ですが、こちらにいたしましては、市内の公共交通利用者アンケートを継続実施中でありまして、現在回収件数は85件となっております。</p> <p>ご説明は以上になります。</p>
議長（成田会長）	<p>ありがとうございました。ただいまの説明に、ご意見、ご質問がございましたらお願いいたします。</p>
藤田委員	<p>はい。アンケート調査について、どのような方式だったのかももう少し詳しく教えていただけますか。</p>
事務局	<p>現状行われているのが、デマンド交通2台の車両内に調査票を設置してですね、利用者からのアンケートを集計しています。</p>
藤田委員	<p>回収方法は、運転手さんに渡すのですか。</p>
事務局	<p>はい。バスの中で提出されたものを持ってくるか、そちらで書いたものを所管している市民協働課にお持ちいただくかですね。こちらの利用者アンケートの結果内容についても、ほぼ通院に使いたいという方が半数以上、次いで買い物に使っている</p>

	<p>というようなアンケート結果が多くでていて、先ほどの運行状況報告書でありました利用実態である8時から10時台に通院で利用者が多いという状況があるのですが、こちらの回答内容も8時台と9時台が利用者数として通院に使われているというような結果が出ております。以上です。</p>
議長（成田会長）	<p>他に何かありますでしょうか。</p>
藤田委員	<p>はい。デマンド交通の1便あたりの平均利用人数については、2人とかになりますでしょうか。</p>
事務局	<p>今がですね、4月や5月のデータを見てみますと、単純計算で5月は24運行日で利用者710人なので、1日あたりの利用者数が29.583人となることで、そこから2台ベースで割り返して1台分が14.79人、そこから1日9便の運行となりますので、1台1便あたりで1.64人程度の数字になっております。</p>
藤田委員	<p>そうすると、乗り合いですけれども、1人だけ乗せて運行しているケースもあるということですね。</p>
事務局	<p>はい。2人を下回っているということですので、そうなります。</p>
藤田委員	<p>その状況であっても、予約がとりにくいという意見もあるのですね。</p>
事務局	<p>はい。</p>
藤田委員	<p>そこはどう理解すればよろしいでしょうか。マッチングが上</p>

事務局	<p>手くいていないということでしょうか。</p> <p>幸手市は、全市をエリアにして2台で運行していますので、市内の端から端までという利用があると、もう他のところに回れないというのは懸案として今実際出てきていますので、そのへんも改善の中ではエリアを分けた方が良いのか車両の台数を増やした方が良いのかなど、乗車率を上げる方策を考えていかなければと思っております。</p>
議長（成田会長）	<p>他に何かありますでしょうか。他にないようでしたら「平成30年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について」につきまして、ご異議なければ、承認とさせていただきます。</p> <p>それでは、これで、すべての議事が終了いたしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。これ以降の進行につきましては司会をお願いいたします。皆様、どうもありがとうございました。</p>
司会（事務局）	<p>それでは、次第5のその他に移らせていただきます。議題の他に何かございますか。</p> <p>（他になし）</p> <p>それでは、委員の皆様からは無いようですので、事務局から議事録についての確認をさせていただきます。</p> <p>先ほど、会議結果の公表について説明をさせていただきましたが、本日の会議の議事録につきましては、事務局において作成し、原則公開の観点から、ホームページにおいて公開させていただきます。</p> <p>なお、公開前に委員の皆様には送付させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>議事録の件につきましては、よろしいでしょうか。</p> <p>（異議なしの声あり） ありがとうございます。</p>

慎重にご協議いただきまして、大変ありがとうございました。
以上を持ちまして、平成29年度第1回の幸手市地域公共交通
会議を終了させていただきます。

ありがとうございました。

(終 了)